

「骨塩定量(DIP)」 検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、骨塩定量(DIP) (LSIメディエンスを通じて、メディカルシステム研究所へ委託)の依頼媒体について、お客様からのご要望にお応えするため可搬記録媒体(CD-ROM/DVD)での検査受託(デジタルDIP法)を開始いたします。

なお、従来のフィルムでの検査受託につきましては、当面検査継続されますが、将来的にはデジタルDIP法に完全移行する予定です。デジタルDIP法の撮像を行うには撮像装置の変更が必要となる場合がございますので、弊社営業員またはご利用の撮像装置製造元までお問い合わせください。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

記

■対象項目/変更内容 (2020-2021 総合検査案内 16 ページ掲載)

●[4105] 骨塩定量(DIP)

変更内容	新	旧
項目コード	3986	4105
検査項目名	骨塩定量:デジタル DIP 法*1	骨塩定量(DIP)
依頼媒体	可搬記録媒体*2(CD-ROM または DVD)	フィルム
備考	*1 デジタル DIP 法の撮像方法につきましては、裏面をご確認ください。 *2 可搬記録媒体の返却は行えませんので、予めご了承ください。	

※その他検査要項に変更はございません。

※従来のフィルムによる検査も当面継続されますが、将来的にはデジタル DIP 法に完全移行する予定です。

■变更日期

●2021年9月30日(木)受付日分より

【お知らせ】

上記期日以降は、可搬記録媒体(CD-ROM または DVD)でご依頼ください。なお、変更後暫くの間は可搬記録媒体でのお預かりとなりますが、オンラインでの撮像データ授受システムの構築を進めておりますので、準備が整い次第改めてご案内いたします。

「骨塩定量:デジタル DIP 法」

骨塩定量(DIP)につきまして、デジタルデータの依頼媒体を用いたデジタル DIP 法に検査内容変更させていただきます。

デジタル DIP 法の撮り方は、下記をご参照ください。

ご利用可能な可搬記録媒体は、CD-ROM または DVD のみとなりますので予めご了承ください。なお、個人情報保護の観点から、撮像データを保存するフォルダには、所定のパスワードを設定の上ご提出ください。

9 月 30 日以降のご報告につきましては、別紙専用報告書にてフィルム検査時の過去検歴とデジタル測定結果を合わせてご報告いたします。

また、従来のフィルムを用いた検査も当面継続されますが、将来的にはデジタル DIP 法に完全移行する予定です。

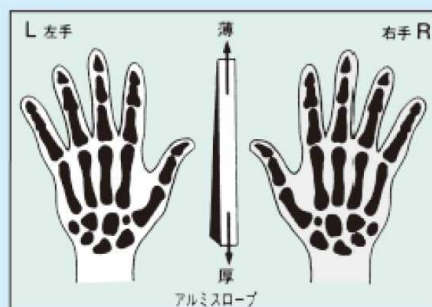
■デジタル DIP 法の撮り方

1. 手とアルミスロープの置き方

- 手は軽く開いて、掌をカセットに密着させて下さい。
- 指定のアルミスロープを第2中手骨のあたりに中心がくるよう両手の間に置いて下さい。
- 測定は左手が基本ですが、できる限り両手を撮影して下さい。

2. 撮影の条件

- グリッドは使用しないで下さい。
- 画像データは実物大になるようにして下さい。
- 画像データの濃度は肉眼観察用と同程度が適当です。
(電圧: 50kVP、電流 100mA)
- 氏名、左右の明示をして下さい。



●デジタル DIP 法の撮り方

- 1) 手とアルミスロープの置き方
 - 2) 撮影の条件
- をご参照ください。

●撮像時のお願い

撮像を行う際は、患者様本人を特定するための情報として、検査依頼書に記載する

- ・患者名
- ・患者 ID(「患者 ID」や「カルテ No.」)を撮像時に撮像機器に入力の上、ご提出ください。